
真・恋姫無双～ドキッ 主人公は最強？

華雪小

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

真・恋姫無双〜ドキッ 主人公は最強？

【コード】

N9838F

【作者名】

華雪小

【あらすじ】

神的な能力の主人公が恋姫の世界で色々とやっていく物語である

プロローグ01（前書き）

この小説においては恋姫無双の主人公の北郷一刀は蜀ルートの立場で出します。オリキャラが何人か出てきます。魏ルートで物語は進みます。

プロローグ 01

「・・・痛てて（泣）、ってここどこだ？」

周りを見渡しても人っ子一人居らず、ただ地平線のみ広がっていた。「どうなってんだ？さっきまで部屋で恋姫をやってて・・・そうだ！そしたら急に目の前がまぶしく光ったんだっけ？」

彼は立ちあがって、よく周りの風景を観察してみると、

「あれ、何だこの風景？なんだかさっきまで見ていた様な気がするんだけど・・・」

そう呟いた瞬間、背後から思ってもみない返事が返ってきた。

「当たり前よ。だって此処はさっきまであなたが見ていたんだから」

「うわっ！！」

驚いて一気に振り返ると・・・

「ムサイ変態がいました。って、バケモノ！！！！」

そこにはTバックのマッコでロン毛のおっさんが立っていました

（泣）

「きいー！誰が泣く子がそのまま逝っちゃう位のバケモノですって！？」

「そこまで言っただけよ！ってかあんた本当に誰だよ！」

「わたしは西施よ。名前ぐらい知っているでしょ？」

「西施ってあの古代中国四大美女という？嘘だろ」

西施はその美しさに川の魚が泳ぐのをやめて溺れて死んだって逸話のある人だろ！

それがこんなおっさんだっただけのは詐欺だろ。ってかこんなの見たらそりゃ溺死するわな。

「信じなさいよ！だって此処は恋姫の世界なんだから！」

今、何だか聞き流せない言葉があったがするんだが？マジ？

「恋姫はゲームだぞ！何を馬鹿なことを言ってるんだ！」

「嘘じゃないわよ。恋姫で外史ってあったでしょ？あれは存在するのよ？」

西施が言うには、外史は存在していて、恋姫が歴史で正しかったり、ゲームとして販売されているという世界も存在しているのだという。つまり俺がいた世界も外史の一つということだ。

「じゃあここは本当に恋姫の中で、俺はその中に入ったってことか？」

「そういう事よ。あなたの世界で二次創作ってのがあったでしょ？あれの話の中の北郷一刀が主人公では無く、別人がトリップしたり、転生したりする話が混在した世界が此処で、あなたはその世界の主人公に選ばれたのよ。」

「……ってことは俺は今から転生するの？マジで？」

「それじゃあ、今から転生させるわね。それと、知識と身体能力とかはそのままでからね？」

「ってちよつと待つ「それじゃいつてらっしやくい」てうおゝ！！！」

急に真つ暗な球体に引きずり込まれて意識が消え、再び目を開けると、

「姓は曹、名は仁、字は孝、真名は龍也、あなたの名前よゝ」

なんかムツチャ美人の女性が笑顔でいました。

プロローグ01（後書き）

話の主人公設定を変更いたしました

初めて、書かせてもらいますので見苦しい点など多々あると思いますが、頑張つて連載していこうと思いますので温かく見守って下さい。

注）話の内容を再び変更いたしました。大分、元から変わりました。

プロローグ2（前書き）

一年近くぶりの投稿です

色々、一話から変更してありますが、読みにくいと思いますが温かく見て下さい

プロローグ2

この世界に勝手に呼ばれて、話が進んで、転生させられた俺。
戸惑いながらも原作に介入することを決心し、

厨二病全開の最強を、ハーレムを、目指し進む俺の生き様を示そう！
俺の未来はどつちだ！！！！

：

そんな事を考えながら、転生して早三年が経ちました。父は俺が生まれる一年前に死亡して、現在は母の曹熾（真名は可憐）と祖父の曹褒（真名は慈朗）のみで後は従者のみだそうだ。

（曹仁Side）

赤ん坊の時はまるで羞恥プレイのような状態であったが、一歳の時に変化が訪れた。

一歳の時に誤って言葉を話してしまったのだ！

そうしたら、家の者達がみんな『天才だ〜！』などと喜んでしまつて、母などは涙とか色々なのでぐちゃぐちゃの顔で頬ずりをしてきた。（あれは気持ち悪かった）

祖父は何か将来設計などを真剣に考え込んでいた。

それから俺はこの世界の字の書き取りや言葉を勉強するようになっていったが、元の能力値が成人の能力であった為か、半年もすれば読み書きは完璧になり、もう半年もすると家にあつた書物はすべて読破してしまったのである。

この事はまたも周囲を驚かし、俺は神童と言われるようになった。そして現在、三歳になった俺は祖父から武術を仕込まれている。

これは二歳頃に、庭を散歩している時に落ちていた棒を拾って振っていたら、祖父が急に出てきて、俺の身体を調べたのだ。

聞いてみると、振っていた棒は訓練用の特別製の棒で二十キロぐら

いの重さがあつたそうだ。

それを易々と振つていた俺に「武術を教えてやる！」と言い出したのだ。

(チートな体なんだから自重しとけよ俺(泣)!!)

〔曹熾Side〕

あの人が亡くなってすぐに気付いた、我が子が宿っているという事実を私は涙を流しながら喜んだのを覚えている。

この子を立派に育てようとの時、私は決心した。

この子は高く昇る龍のようになって欲しい、そう思つて私は「龍也」と真名を付けた。

育ててみると曹仁(龍也)は神童と呼ばれる程の者であつた。

一歳の時に何と言葉を発するようになったのだ!しかも第一声が「はは」であつたのだから、

私は狂喜乱舞してしまつたのだ。それ程にあれは感動的なことであつた。

その後、読み書きを教えてみると一年で我が家の書物を読破するという偉業を行つたのだ。

その上、御養父様が言うには、武人としての資質もあるそうで、文武両道で、そして顔立ちも整つているといふのだから、この子は天に愛されているのに違いないわ(悦)。

きつと、可愛さは曹騰さまのところの孫の華琳ちゃんにも劣らないでしょう!!

ブログ2 (後書き)

結構、無茶苦茶な話ではありますが今後も投稿していこうと思います。
よろしく願いいたします

はじめての殺人I

転生してから八年が経ちました。

最近では武術の稽古において祖父に九割の確率で勝てるようになりました。(一割は引き分け)

この事に祖父は「わしの威厳が」などと言ってシヨックだったのか結構凹んでいました。

だけど、このチートの肉体に対して引き分けれるアレもバケモノじみてると思えるのですか？

そんな祖父がなんか熊狩りをするということ、俺も連れて行かれることになったのです。

「龍也Side」

「爺さま、野党つて多いんですよ〜？」

「当り前じゃよ。軍が駆り出されるほどじゃからな」

「それじゃ〜・・・何で俺と爺さんだけで倒しに行くんだよ!？」

「何を言つとる?お主の修行の成果を發揮するのに十分ではないか?そうなんだよな、爺さん、武は凄いけど何か常識と少しずれてるんだよな〜。」

さすがに八年も一緒に暮らしてたら慣れたけど、こんな事言つながら俺が甘かったのかな〜?

「それにお主も人を殺めるといふ事を経験しとかんたらんからの〜丁度よかつたのじゃ」

そうだよ!今から俺、生まれて初めて人殺しになるんだよ!この時代じゃ当り前なのかもしれないけど、はっきり言つて俺はそれが慣れないでいる。

「これは慣れが大切じゃ」と周りは言うけど、慣れるというのが俺は恐ろしく感じている。

「殺す」と考えただけで体が震えだしてしま「大丈夫じゃ」

「お前はワシがしっかりと守つてやるから、その様に震えんでよい。

何も恐れんでよい。」

「・・・ジジイに言われても、ときめかね〜よ!!!・・・だけど、
「ありがとう、爺さん」

感謝の言葉ぐらいは言っとかないとな!

・
・
・

<数十分後>

あれが野党か・・・

1、2、3、・・・全部で10人か。

「策はどうするんだ、爺さん?」

「もちろん・・・突撃じゃ〜!!!」

はっ?何それ?作戦でも何でもね〜じゃん。しかももう行っちゃっ
たし。

仕方ない、俺もこの初陣、頑張らね〜とな!

・・・だけど殺し合いはやだな〜(泣)

はじめての殺人I（後書き）

いつもよりも短いです

次話で戦闘を書かせて頂きます

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9838f/>

真・恋姫無双～ドキッ 主人公は最強？

2010年10月10日01時17分発行